

(別添 3)

【奄美市】
校務 DX 計画

本市では、GIGA スクール構想に基づき、令和 2 年度から市内すべての小中学校に 1 人 1 台端末（タブレット端末）を導入し、校務 DX 化を図っている。本市の課題としては、FAX・押印の原則廃止、ペーパーレス化の推進、セキュリティポリシーの改善等が挙げられている。これらの課題を解決しながら、学校での教職員の業務改善を図り、より教職員が児童生徒に向き合う時間を確保できるよう、校務 DX を加速していく。

1 業務の効率化

(1) 教職員の資質向上

奄美市 ICT スクールリーダー研修会での、学習 e ポータルや AI ドリル、授業支援ソフトの活用法の研修の実施

(2) ミライムによる業務連絡及びペーパーレス化

ア 出出勤の管理

イ 行事計画や連絡事項の周知

(3) FAX・押印の見直し、データでの提出・報告

ア 各種申請書や報告の押印省略を見直し、データでの提出を推奨

イ 校務系ネットワーク（学校間共有フォルダ）を活用した資料の共有

(4) 校務支援システム（スズキ校務）による諸帳簿の作成

ア 通知表

イ 指導要録

ウ 出席簿

(5) 安心メールの活用

不審者情報等の即時連絡

(6) 学校便りの HP への掲載によるペーパーレス化

2 教育情報セキュリティポリシーの策定

奄美市の教育情報システムは「奄美市情報セキュリティポリシー」を準用して運用している。

今後、クラウドシステム間データ連携等の教育 DX を推進していく上では、情報セキュリティポリシーを見直し・改善し学校教育の現場にあったセキュリティ対策基準を策定する必要がある。

3 次世代の校務支援システムの整備

現在の校務支援システムは、オンプレミス型により運用しているが、クラウド型校務支援システムへの移行を見通した整備を検討する